



2020・4・1

第 369 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

改憲論議推進めざし地方議会も動員

青森・愛媛県が国会への意見書

【青森県議会】 青森県議会は3月12日の本会議で、国会の憲法審査会で国民の意思が反映されるような憲法論議をおこなうことを求めるとした「意見書」を採択しました。自民党29人と清和会、無所属6人のあわせて35人が提出したもので、採択では公明党も賛成しました。反対は立憲民主党・国民民主党、共産党、県民主役の県政の会。

23日には雪が降り出す悪天候のなか、これに抗議する「県民集会」が開かれ、九条の会、県民ネットあおもり、憲法を守る県民の会などから、100人が参加しました。

【愛媛県議会】 愛媛県議会は最終日3月18日の本会議で、「国会における憲法論議の推進と国民的論議の喚起を求める意見書」を採択しました。賛成したのは自民党、志士の会、維新の会等の38名、反対したのは立憲民主党や社民党つくるえひめリベラルの会、共産党、ネットワーク市民の会の6名で、公明党2人は退場しました。

積極的な普及運動を！

九条の会ブックレット

「安倍改憲のねらいと危険性 —改憲発議阻止のために—」

<もくじ>

はじめに 小森 陽一
講演

◇安倍改憲のねらいと危険性

—自衛隊明記論を中心にして

山内 敏弘

◇安倍改憲をめぐる新たな

情勢と阻止のたたかい

渡辺 治

あとがき 小沢 隆一

声明「草の根からの『改憲発議許さず』
の声で安倍改憲に終止符を」

A5版68頁 定価 400円(〒別)

多数部割引あり

財務局職員の自殺も取り上げ

【奈良県生駒市／生駒九条の会】 3月19日（木）は生駒九条の会の定例の宣伝行動日で、本来はロングラン宣伝署名で「改憲発議に反対する全国緊急署名」と「ヒバクシャ国際署名」を行うはずでしたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、署名・チラシは控えてスタンディング宣伝を行いました。22名が生駒駅コンコースいっぱいに広がり「アベ政治を許さない」を掲げてサイレントアピール。通常より立ち止まっただけのぞき込む人も多く、「署名ないの？」と署名してくれる人もいました。

ちょうどその日に「森友改ざん遺族が国提訴」のビッグニュースが朝刊に。「アベ政治」が財務省の決算文書改ざん強制で、真面目で良心的な近畿財務局職員・赤木俊夫さんを自殺にまで追い込んだ、この事実を知らせないわけにはいかないと、後半にはマイク宣伝も行いました。「改ざん強制、安倍は真実を語れ」

【平城ニュータウン九条の会】 近鉄高の原駅前宣伝。3月9日（月）、参加者11名。安倍首相への不信や怒りから自ら署名を申し出る人が出てきました。今までにない変化です。配布チラシは「非常事態宣言はいらん！」で、受け取りは良かった。

「STOP 改憲発議」の署名数は19筆、「核兵器禁止条約の早期締結署名」は5筆でした。

（「九条の会奈良県ネットワーク」）

コロナ特措法改定に危機感

【青森県／県九条の会】 「戦争法廃止、9条改憲を阻止し、安倍政権の早期退陣を」

と、青森県九条の会は3月19日昼、青森市の駅前公園前でスタンディング行動をしました。

やわらかな春の風の吹くなか「安倍政治NO!」「アベ政治を許さない」のポスターを掲げた参加者たち。市民一人ひとりに「こんにちは」「一緒に声をあげましょう」と呼びかけました。

久しぶりに参加した三上正信さん（81）は、新型コロナウイルス感染症を特措法の対象に加える改定案が可決されたことに危機感を抱いたと言います。

「コロナ対策の名で『緊急事態宣言』が出されたら、大変なことになると思っています。憲法改悪にもつながる」と三上さん。「安倍独裁政治への怒りを仲間と一緒にアピールしたかった。今日は来てよかったです」と胸を張りました。

マスクをつけた市民が素通りするなかで、ポスターと参加者を交互に見て、大きくうなずく70代の男性がいました。

男性は「安倍のせいで、日本はなにもかもめちゃくちゃになった。国がおかしくなったのは安倍のせいだと思ってら」と怒りが収まりません。「首相が安倍でなければ誰でもいいくらいだ。早く首相を辞めてほしいよな」と一段と力を込めました。

行動前の学習を組み合わせて

【岡山市中区／操南9条の会】 操南9条の会は3月22日（日）、中区操南ふれあいセンターを中心に宣伝署名を行いました。最近政権の醜聞だけが目に付きますが、腹を立ててばかりも身体によくありません。ストレス解消も必要です。

地域から7人が参加、30分ばかりの学習会から始まりました。世話人の小林軍治さんが新聞の切り抜きをコピーした資料を使って、安倍政権の改憲への執念を紹介し、市民アクションが改憲策動に反対の署名をよびかけていると話しました。

議論の中でも、最近のコロナ特措法にみられるように政権は、首相が宣言することで国民がどのような反応を示すかを推し量っていること、9条改憲の前に緊急事態条項が憲法に組み込まれようとしていること、一気に改憲に進む懸念なども語られました。学習会は短いものでしたが、非常に的確な情勢判断で、討論で深められた改憲の動きや市民アクションの呼びかけなどがその後の宣伝にも役立ちました。

早速ふれあいセンターのバス停付近、のぼりや横断幕をもって宣伝です。代表の近藤さん、小林世話人、そして私の3人がマイクで訴えました。近藤代表は、「改憲反対の運動が各界の著名人の呼びかけで進められている」と紹介しました。私は、「9条が持つ平和への願いは、75年前の戦争の反省の上に憲法に託されていると述べ、コロナ感染問題で、首相は国民に根拠のない一斉休校宣言や、検査体制を怠る一方で感染の実態を隠して緊急事態宣言のチャンスを狙っている様子が見受けられる。自分は安倍首相に疑念を持っていると話しました。「コロナ特措法も国会を通過したが、これは緊急事態条項と似た性格を持ち、非常に危ない法律を安倍政権に許してしまった。警戒を要する事態になっている。各国が協力し合って、危機的な状況を解決に導く必要がある」と話しました。

署名は付近の公園で遊んでいる親子連れにお願いして15筆を集約しました。気分転換にはちょうど良い行動でした。

(岡山県九条の会ニュース「岡九」NO7)

通行中の若者もコールに同調

【静岡県／戦争法廃止オールしずおかアクション】 戦争法廃止オールしずおかアクションは3月19日、戦争法の廃止、改憲発議に反対する署名宣伝とパレードを、静岡市葵区で行いました。

約30人が繁華街を「安倍はいますぐ退陣」「野党は共闘」などとコールして歩くと、若い男性のグループが「バズる」(ハチがブンブン羽音を出すように話題が盛り上がる)と言いながらスマホで撮影。一緒にコールしていました。

宣伝では林克代表、合戸一政氏(静岡市9条の会連絡会)らが、「森友学園」をめぐる公文書改ざん問題を批判し、安倍政権の改憲なんて絶対に許してはいけないと署名を呼びかけました。「安倍首相の言っていることは、よくわからない」(26歳女性)、「とんでもない安倍政権を早く倒そう」(65歳男性)と市民が署名に応じました。

毎月の事務局会議を重視

【東京都／九条の会・杉並連絡会】 杉並区内には、職場・地域の9条の会が21あります。各地域の9条の会では、宣伝を重視し、月1回～2回は駅頭宣伝をする会が7、学習会を定期で行う会が6、自前のニュースを定期で発行する会が3など、さまざまな取り組みをしています。職場の9条の会は、なかなか継続できないのが悩みで

すが、大学生協 9 条の会が再建され学習会に取り組んでいます。

地域の 9 条の会の学習会は、その地域に住んでいる方を講師として行っていることも心強いことです。

9 条への直撃、14 年の「集団的自衛権行使」を可能とする閣議決定前後から国会行動への参加、世論喚起のチラシ作成・学習会、2000 万人署名の推進など、連絡会としても行い、15 年 9 月の安保法制の国会での強行後には、「9 条変えるな！杉並市民アクション」が、9 条の会、杉並 1000 人委員会、市民団体、組合、市民の参加によって結成されました。安倍政権下での改憲を許さない 3000 万人署名、学習会、講演会などに取り組んで発展させていきます。

(杉並連絡会事務局長・塩谷公子 九条の会東京連絡会「生きいき憲法」No66 より一部抜粋)

中村哲さんの業績たたえ追悼

【大阪府／九条の会等の実行委員会】

「中村哲を追悼しその足跡に感謝するつどい」が 2 月 1 日に大阪市内で開催され、600 人を超える参加者がロビーまで溢れました。

「中村哲さんを追悼するつどいを大阪でも」の声を、ジャーナリストの西谷文和さんが受け止めてくださり、「九条の会・おおさか」「おおさか女性九条の会」「おおさか医科歯科九条の会」も実行委員会に参加しました。

つどいでは「九条の会・おおさか」吉田栄司事務局長が開会あいさつ。同事務局の梅田弁護士がペシャワール会支援の訴え。中村さんの足跡を改めてたどるいくつかの

DVD が上映され、現地を支援する団体や、医師をめざす学生のスピーチとともに、アフガニスタンの方も登壇され直接思いをお聞きできました。会場には涙ぐむ姿があちこちで見られ、ペシャワール会への募金も次々と寄せられました。

五輪憲章順守の大会運営に

【スポーツ 9 条の会／安保法制廃止をめざすスポーツと体育の会】 スポーツ 9 条の会と安保法制廃止をめざすスポーツと体育の会は 3 月 21 日、東京都内で合同学習会を行いました。オリンピック評論家の広畑成志さんが「オリンピック改革と東京 2020」をテーマに講義しました。

広畑さんは、近代オリンピックが資本主義とともに発展してきた背景を説明。「資本主義が行き詰まりを見せるいま、五輪も持続可能な形へ変化する必要がある」と強調しました。また、暑さ対策で東京五輪のマラソン・競歩会場が札幌に変更されたことに触れ、「スポーツ界には、気候変動など地球環境の危機に対応した行動が求められている」と語りました。

さらに、五輪開催国の役割は五輪憲章を順守し具体化することだと指摘し、東京五輪・パラリンピックを施政方針演説の軸にし、改憲や国民の負担増に利用しようとする安倍政権を批判しました。

質疑応答では、日本のスポーツ界に女性の指導者や競技団体役員が少ないことなどが出され、スポーツが健全に発展していくために愛好家や市民が声を上げる重要性が語られました。